



## 7月の学級づくり【中学校版】

7月は、中体連の大会が終わった部活動は引継ぎ、県大会や北信越大会まで進む部活動はまだまだ3年生の活躍の時期。一方、登山やキャンプ、臨海学習の行事の準備や、職場体験学習の準備にも忙しい時期。外での活動の多い時期で、心も解放されやすくなり、人間関係を深める機会にもなります。

### ☆宿泊行事での生徒指導ポイント☆

#### ☺ 予測と準備で大成功！

- ☑ ケガ・事故に対する対応を予測☺  
普通の学校生活では思いもよらないケガや事故が発生することもあります。例えばキャンプでの火傷や登山でのねんざ等はどう対処するかを予測してマニュアル化しましょう。
- ☑ 宿泊部屋の事前生活指導を☺  
部屋の友達関係はどうか？複数職員でチャックをしましょう。  
部屋での生活指導は、禁止事項ばかりでなく、逆の発想で、よい事例、感心したこと、うれしかったことを話してみましょう。
- ☑ 行事の成果を普通の学校生活に活かす☺  
普通の学校生活では見えない子どもたちのよさを見逃さずに、事後指導で学級経営に反映させる準備をしておきましょう。

### 生徒とのかかわりを振り返ってみよう

1学期終了まであと少し。かかわりを自己評価し、手だてを講じてから夏休みを迎えましょう。

#### 1 よかった指導を振り返る

「この子は数学のこの部分が理解できたことで考え方をつかむことができたな。」「この子には粘り強いかかわったことで関係づくりができたぞ。」

- よかったことは生徒にも自分にも力になっています。記録を残し、この調子で。

#### 2 失敗を振り返って、対策をたてる。

「あの一言がまずかった。あの一言については、ちゃんと謝っておこう。」「叱ったとき、家でこんなことがあった後だったのか。自分が今どう思っているか伝えておこう。」

- 気持ちが高ぶった中での指導を落ち着いて評価し、フォローをしておきたいもの。

#### 3 かかわりが少ない子がいれば、声がけを。

- 「一学期、あの子をほめたことがあったかな」
- 悪いこともないけれど、ほめたこともない子はいませんか。この子たちこそ、この時期大切にしたいもの。何か見つけて一言を。

### 通知票は学習意欲を高める手だてに

通知票をもらった生徒の意欲が高まるように総合所見では、生徒のよさや努力している姿を具体的に書き、担任の温かいまなざしが伝わるようにしましょう。そして、最後は希望のもてるように生徒や保護者の意識になって書きましょう。

評定と所見がつながるように

教科の所見で、ノートの提出率だけでは、それを目にした親子のさびしいやり取りしか生まれません。また、評定は良くないのに、所見はほめるだけというのも、生徒や保護者には疑問が浮かぶだけです。何をどう頑張れば伸びるのが分かるように書きましょう。

最後に必ず点検を

PCを使って作成すると、成績や欠席日数が次の生徒とずれることもあります。書き終えたら、必ず点検するとともに、校長先生や教頭先生に見てもらい、アドバイスをいただきましょう。

### 支援が必要な子どもの「つまずき」を支援するポイント

#### 「授業中に席を離れてしまう生徒」

視覚的あるいは聴覚的な刺激に影響を受けやすいですか？

窓側を避けるなど、刺激の少ない座席の位置にしてみても、

黒板に集中しやすいように、教室前面や前方の掲示物を簡素なものにしてみても、

全体の指示で、内容を理解していないことがありますか？

分かりやすく、端的に具体的な指示を。

全体の指示の前後に、そっと個別に指示を。

集中できる時間が短いですか？

集中できる時間を把握し、例えば25分を区切りとする学習を組み立て、授業の流れを一定にしてみても、

身体を少し動かす活動を取入れてみても、